

2021年 5月 / 日

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	初発内鼠径ヘルニアに対するTAPP法とTEP法の成績比較
倫理委員会承認番号	No. 21- 12
研究の対象	2013年9月から2021年4月までの間に、当科で初発内鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下修復術（TAPP法およびTEP法）を行われた患者様
研究目的・方法	腹腔鏡下鼠径部ヘルニア修復術として、腹腔内アプローチであるTAPP法と腹膜前腔アプローチであるTEP法という2種類の術式が主に行われます。わが国ではTAPP法を行う施設が多いですが、当科では患者さんの病態に応じて両術式を使い分けています。当科で2013年9月から2021年4月までに経験した、初発内鼠径ヘルニアに対するTAPP法142例（片側107例、両側35例）とTEP法45例（片側34例、両側11例）を対象とし、その成績を後方視的に比較検討します。
研究に用いる 試料・情報の種類	電子カルテでの記録
外部への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ (無) ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：田崎 達也 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	第34回日本内視鏡外科学会総会で発表予定です